

内視鏡検査についての説明

内視鏡とは？

内視鏡と呼ばれる細い管を鼻または口から挿入し、上部消化管(食道・胃・十二指腸)を観察する検査です。

目的

胸やけ、吐き気、腹痛などの症状があった場合や、健康診断などで異常を指摘された場合など、上部消化管(食道・胃・十二指腸)の病気が疑われたとき、その原因を調べるために行います。

検査前

午前検査の方:検査の前日の夜9時以降は摂食せず、当日の朝食もとらずに来院ください。(飲水は可能です)
午後検査の方:検査開始6時間前より摂食せず来院ください。(飲水は可能です)

手順

検査室入室後、検査前に胃の泡をとる薬を飲み、その後、経鼻挿入の場合は鼻腔に血管収縮剤・局所麻酔剤を注入し、その後、麻酔薬を塗った細い管を鼻腔に入れ奥まで麻酔をかけ、経口挿入の場合は、咽頭に麻酔薬を噴霧して、ほとんど感覚がなくなるようにします。

検査ベッドに横になり、内視鏡を鼻または口から挿入していきます。検査時間は10分程度ですが、詳しい検査のために時間がかかることもあります。検査中に病変が見つかった場合は組織の一部をとり病理検査をします。

注意事項

心臓や腎臓、肝臓に病気がある方、緑内障、前立腺肥大のある方、血液が固まりにくくなる薬を飲んでいる方は検査前にお申し出ください。

鼻腔が狭い方や鼻炎のある方は痛みや出血を伴うことがあります。その場合は、経鼻的な内視鏡の挿入を中止します。経口的挿入で行うかは、そのときご相談します。(管が細いので従来の胃カメラよりも楽です)

上部内視鏡検査の合併症

2008年から2013年までの5年間の全国調査では、上部内視鏡検査での合併症の発生頻度は0.014%、死亡率は0.00013%で、経鼻内視鏡では死亡例はありませんでした。主な合併症は、出血、裂創、縦隔炎でした。

当院では2007年から2020年までに5612例の検査を実施し、合併症は鼻出血3例のみで内視鏡径が細くなった2016年以降は合併症の出現はありませんでした。

以上、お読みいただき、検査を受ける事に御同意いただけましたら、下記同意書に御署名ください。

内視鏡について必要な事項を説明いたしました。

令和 年 月 日

医師署名

柿沼 徹

立会人署名

内視鏡についての同意書

このたび私は、内視鏡についての内容説明を受け、かつそれに対する十分な質問の機会が与えられ理解しました。また、実施中に緊急の処置をする必要性が生じた場合は、適宜処置されることについても理解しました。

令和 年 月 日

患者署名

保護者または親権者・親族等署名

(続柄)

(患者が未成年または意思決定できない場合は必ず署名してください)